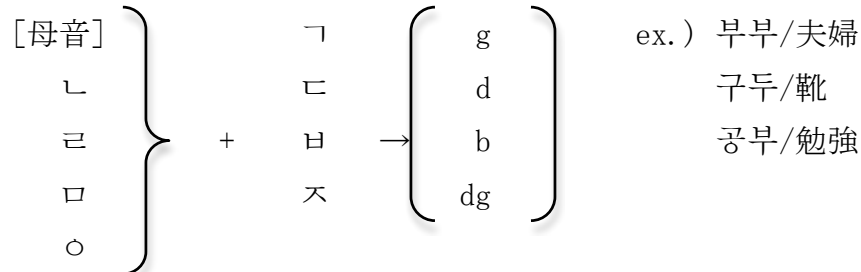


□ 下準備

〈発音の規則 10 通り〉

1. 有声音化



2. 連音化

받침+ㅇ (無音子音) のとき받침がㅇのあるところに移る

ex.) 쌍받침 : 있어요 [이써요] /います、あります

→받침はまるごと移る

겹받침 : 읽어요 [일거요] /読みます

→右側の받침だけ移る

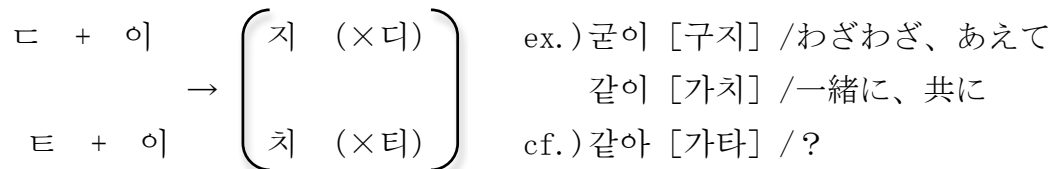
例外) 좋아요 [조아요] /良いです

→ㅎ (히읇) は消える

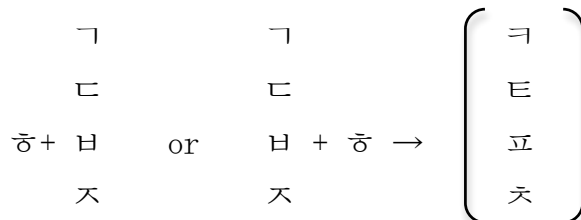
많아요 [마나요] /多いです

→ㅎが消えて残りが移る

3. 口蓋音化



4. 激音化



ex.) 축하 [추카] /祝賀、お祝～

입학 [이팍] /入学

많다 [만카] /多い (↓※代表音に直して考える)

못해요 [모캐요] /できません、下手です

## 5. 濃音化

k, t, p の発音の받침の後の平音は濃音として読む

$$\begin{pmatrix} k \\ t \\ p \end{pmatrix} + \text{平音} \rightarrow \text{濃音}$$

↑ ※ㄱ ㅌ ㅍ ㅈ ㅊ ㅅ ㅆ etc. 含む

ex.) 학교 [학꾜] /学校

있다 [읷따] /ある、いる

없다 [읷따] /ない、いない

## 6. 下側音化

$$\begin{array}{l} \text{ㄴ} + \text{ㄹ} \\ \text{ㄹ} + \text{ㄴ} \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} \text{ㄴ} + \text{ㄹ} \\ \text{ㄹ} + \text{ㄴ} \end{array}} \right\} \rightarrow [\text{ㄹ} + \text{ㄹ}] \quad \text{ex.) 신라 [실라] /新羅}$$

※注意) 合成漢字語で、ㄴとㄹが成分単語をまたぐときは [ㄴ+ㄴ] の発音になる。

ex.) 의견·란 [의견난] /意見·欄

생산·량 [생산냥] /生産·量

## 7. 鼻音化

$$\begin{array}{cc} \neg & \text{ㄴ} \\ \text{ㄷ} & + \\ \text{ㅁ} & \text{ㅁ} \end{array} \rightarrow \begin{pmatrix} \text{ㅇ} \\ \text{ㄴ} \\ \text{ㅁ} \end{pmatrix} \quad \begin{array}{l} \text{한국 노래 [한궁 노해]} \\ \text{한국 말 [한궁 말]} \\ \text{십 년 [심 년]} \\ \text{십 만 [심 만]} \end{array}$$

※ 発音したときの口の形がㄱ, ㄷ, ㅁとㅇ, ㄴ, ㅁでそれぞれ同じことから  
も連想しやすいだろう。

## 8. 頭音化 (頭音法則) →主に漢字語にあてはまる法則である。

ㄹは第一音節の初声には用いない

(1) 라, 로, 루, 르はそれぞれ나, 노, 누, 느に変わる

신라 (新羅) - 나열 (羅列)

근로 (勤勞) - 노동 (勞働)

도루 (盜墨) - 누심 (墨審)

※同じ漢字のあてがわれる語でも右側のように語中で使われるときは

ㄹ, 語頭で使われるときはㄴにかわることに注目

(2) 라, 러, 료, 류, 리はそれぞれ야, 여, 요, 유, 이にかわる

개량 (改良) - 양심 (良心)

경력 (經歷) - 역사 (歷史)

개료 (材料) - 요리 (料理)

## 9. 流音ㄹの鼻音化

終声ㄱ, ㄴ, ㄷ, ㄹの後に来る初声ㄹは[ㄴ]と発音される。

ㄱ

ex.) 독립 [독립 (9) → 동립 (7)]

ㄴ

법률 [법률 (9) → 범률 (7)]

ㄷ + ㄹ → ㄴ

동료 [동료]

ㄹ

## 10. [ㄴ] 音の添加

主に合成語の場合 받침 の後に야여요유이が来ると[ㄴ]と発音される

야	$\left( \begin{array}{c} 나 \\ 녀 \\ 뇨 \\ 뉴 \\ 니 \end{array} \right)$	ex.) 그림 엮어 [그림 녀씨] / 絵はがき 두통약 [두통낙] / 頭痛薬 담요 [담뇨] / 毛布 꽃잎 [꼰닙→꼰닙] / 花びら
여		
받침 + 요 →		
유		
이		

※ (試験に出る!)

韓国語の発音上の特徴の一つとして、一つの名詞ともう一つの名詞がくっついて独立した意味を持って合成語のような機能をする際、後ろの名詞の最初の文字の初声平音(ㄱㄷㄴㅍㅌㅍㅍㅍ)は濃音(ㄱㅌㅌㅌㅌㅌㅌㅌ)にかわる傾向がある。

ex.) 물고기 (水+肉) [물꼬기] / 魚

잠자리 (寝ること+座) [잠짜리] / 寢床

→cf) 잠자리 [잠자리] / とんぼ

일본 사람 [일본 짜람] / 日本人

〈表記変化3通り〉

1. ㄹ(리을)語幹

語幹末音が“ㄹ”である用言の場合、その“ㄹ”の後に  
ㄴ(니은), ㅁ(비읍), ㅇ(시옷), ㅇが来ると(“spon”で覚える)“ㄹ”は  
脱落する

ex.) 살다/住む → 삽니다, 사십니다, 사는 집/住んでいる家  
걸다/かける → 겁니다, 거십니다, 거는 사람/かける人

2. ㄷ(디귤)変則

動詞の中で語幹末받침“ㄷ”の後に母音が続くと“ㄷ”받침が“ㄹ”に  
かわるものが一部ある

아		아
ㄷ + 어	→	ㄹ + 어
으		으

ex.) 걷다/歩く → 걸어요, 걸읍시다  
묻다/問う → 물어요, 물읍시다 cf) 묻다/埋める は規則変化  
깨닫다/悟る  
듣다/聞く  
심다/のせる、積む

3. ㅇ語幹

語幹末母音が“ㅇ”母音の用言は、語幹の後に아/어가続くと“ㅇ”母音  
はなくなってしまう

- ・ 1音節→いつも“ㅇ”のかわりに어가付く

ex.) 쓰다/書く  
쓰어요 → 써요 쓰었습니다 → 썼습니다  
쓰다/消す  
끄어요 → 꺼요 끄었습니다 → 꺾습니다

- ・ 多音節→“ㅇ”の直前の音節の母音の陰陽に従い아, 어が付く

ex.) 바쁘다/忙しい  
바쁘어요 → 바빠요 바빴습니다 → 바빴습니다  
고프다/空腹だ  
고프어요 → 고포요 고프었습니다 → 도왔습니다